



PwC Japan有限責任監査法人

保険会社向けアドバイザリー(サステナビリティ業務経験者)【FS INS IAG】

保険会社向けアドバイザリー(サステナビリティ業務経験者)【FS INS IAG】:

Open/Closed Open

セクションを非表示 - DetailsDetails

Specific Information (External):

【チーム紹介】

PwC Japan有限責任監査法人 保険アドバイザリーグループ（IAG）は、保険会社を主なクライアントとして、幅広いアドバイザリーサービスを提供しています。近年、国際的な保険会計基準の改正や金融規制の変化、保険会社のクロスボーダー案件の増加、サステナビリティ関連規制への対応により、IAGの業務領域は拡大しています。最近では、国際会計基準などの各種会計基準への対応支援、内部統制高度化支援に加えて、保険会社の設立支援やサステナビリティ領域での取り組み検討支援（例：マテリアリティ評価、人権デューディリジェンス、ESG投資）等の業務を提供する機会に恵まれ、2012年7月のグループ発足以降、売上・人員ともに大きく増加しています。このように多様化する保険会社のアジェンダに対応するために、会計士のみならず、保険業務実務の経験やプロジェクト管理経験といった会計以外のスキルを持った多様なメンバーで構成しています。一方、拡大するIAGの業務領域に対応するために、さまざまな領域の経験を有するメンバーの加入が急務だと考えています。

【監査法人としてアドバイザリーサービスを提供する目的】

監査法人のアドバイザリーサービスが、一般的なコンサルティング会社と違うところは、同じ業界のさまざまな会社に対する監査サービス等を通じて得ることのできる、業務プロセスの深い理解に基づくアドバイザリーサービスを提供できることです。また、監査法人は、公認会計士法等により業務内容や提供する業務の品質管理が厳しくコントロールされます。自己流ではなく、このような作法に基づく品質の高いサービス提供プロセスを経験することは、コンサルタントとしての誠実性および柔軟性を滋養する面があります。

【保険アドバイザリーの可能性】

保険会社は、社会生活に内在するリスクを金銭に置き換え、引き受けることを生業としています。現在、グローバル化やさまざまな領域での自動化、人々の長寿化など、企業・個人が直面するリスクが変化の中で、保険業界は積極的に事業リスクを取りに動いており、金融の中でも未だ成長段階にあると言えます。私たちは、IAGという

器の中でこのような保険業界に対してサービスを提供していますが、その知識・経験は、業種を超えて活用できる可能性を感じています。変化が起きている成長分野で経験を積みたい方や、特定分野の知識を習得して強みをもちたいと実感されている方は、是非応募をご検討ください。

【採用背景】

上記の通り、保険業界は金融の中でも未だ成長段階にあり、サステナビリティに関する社会的関心の高まりを受けてサステナビリティ関連の支援の引き合いが多いための増員募集となります。

【業務内容】

以下は、業務内容の一例です。

■ SSBJ/CSRD開示支援

サステナビリティに関する開示規制が施行され、大手保険会社から順次対応を開始しております。サステナビリティ領域の開示は幅が広く定義も定まらないものも多いこと、また開示の対象が膨大なことから、クライアントからのニーズは高くございます。我々は、現状とのGAP分析、開示までのロードマップ策定、データポイントの特定、収集支援など、包括的なサービスを提供しています。

■ インパクト測定・開示支援

サステナビリティの考え方が広まるにつれて、財務的成果だけでなく、事業活動が社会に与えているインパクトについての開示が注目されており、保険事業、投融資の両側面において、事業活動が社会に与えるインパクトを定量的に開示する試みが広がってきています。IAGでは、これらの測定・開示についてご支援をしております。

【キャリアパス・身につくスキル】

- ・今後拡大することが予想されるサステナビリティ領域に早期から関与し、専門性を身に付けることで、同領域の第一人者として活躍することができます
- ・基準の理解、基準の適用と応用、調査・分析、論理的な整理等を日々の業務から、ハード・ソフトスキルの両面から身に着け、磨くことで成長することが可能です。また、ビジネスでの基礎スキルと+αの付加価値を得ることから、キャリアにおける自己の可能性を広げることができます。自己のゴールに向けたさまざまな選択肢を持つことができます
- ・社会課題解決に貢献できる業務であり、アドバイザーとしての中長期的なゴールを達成できます
- ・保険業界への支援を通じて金融という専門性の高いスキルを身に着け強みとすることができます:

Work Location(External) 東京

セクションを非表示 - Application conditionApplication condition

Core Requirements(External):

【必要となるスキル・経験】 下記いずれかのご経験

- ・サステナビリティ関連プロジェクト経験（ESG投資、人権デューディリジェンス等）
- ・サステナビリティ領域での修士号

【あれば望ましいスキル・経験】

- ・コンサルティングファームでのプロジェクトマネジメント経験
- ・新たな分野や課題に自ら挑戦し取り組むマインドを持った方
- ・学習意欲が高く、常に新しい知識獲得に取り組んでいる方
- ・TOEIC800点以上かつビジネス上で英語によるコミュニケーションに支障がない方

Treatment:

セクションを非表示 - RemarksRemarks

■AGT様向け採用情報

- ・A～M迄で3～5名採用予定
- ・35歳までは非金融も可能。第二新卒で経験2年以上から選考対象となります
- ・サステナビリティの専門家でなくとも関係各所との調整や、PJ推進があれば選考可能性高いです。
- ・大卒以上で学歴レベルは不問。英語は業務で使うために日常会話以上必須。
- ・35歳以上はコンサル（サステナでなくとも）経験もしくは金融業界経験必須。

以下キーワードに当てはまる方がいらっしゃいましたら是非ご紹介をお願いします。 サステナビリティ/ESG/人権デューデリジェンス/気候変動/人権/SDGs/持続可能/SX/GX/多様性 ダイバー/TCFD/気候/非財務/カーボンクレジット/マテリアリティ/統合報告書/脱炭素/再生可能エネルギー /TNFD/人的資本

■選考プロセス

書類選考→面接（部門2～3回+人事面接 1 回）→リファレンスチェック+BackCheck→内定

※面接回数は2～3回です。人事面接はいずれかの部門面接と同日連続して行うことが多いです。

※リファレンスチェック+BackCheckは選考プロセスとしてオファー前に行います。詳細はお問合せください。

